



けいじしみず 慶次清水

米沢市八幡原



〔管理者〕米沢市 〔保全団体〕米沢前田慶次の会

ポイント

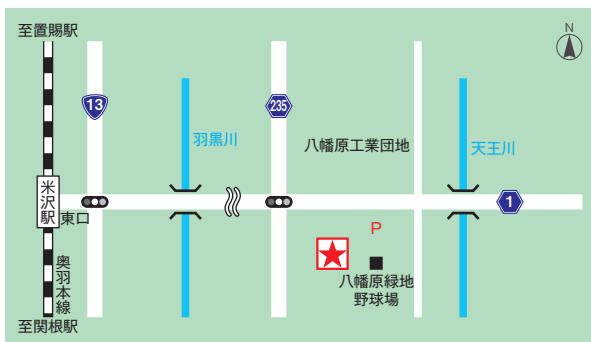
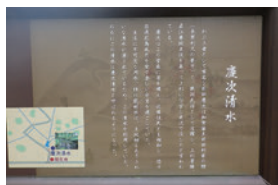
米沢駅から東に2.3kmほどの野球場の西の森の中にある。前田慶次がこの地に庵を結び、この清水で暮らしたという。以前はかなりの水量があったが、八幡原工業団地の開発が進むにつれ細くなったと言われるが、降雨の後などは豊富な水量がみられる。近くには前田慶次由来の遺構が数々見られる。



アクセス

(北緯37.909056°、東経140.154611°)

米沢駅東口を東に進み、国道13号、羽黒川を渡り信号を渡ると八幡原工業団地があり、その右側の「八幡原緑地野球場」に駐車する。野球場を左手に見ながら200mほど進み球場を半周ほどした所に案内板がある。右の林の中に入り、数10mほど進むと、湧水池がみられる。





〔管理者〕米沢市 〔保全団体〕滝の清水保存会

ポイント

小野川温泉開湯は、836年（承和3年）、小野小町が父の行方を訪ねて京都から東北に向かう途中、病に倒れた際に偶然発見したとされる。

滝の清水は小野川温泉開湯時から湧き続ける清水である。温泉街の東にある「清水山」の山麓から引水しており、小町由来の美人長命の名水と言われてきた。

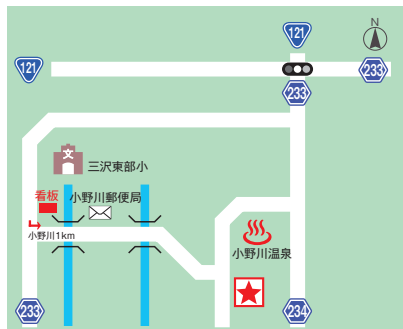
小野川温泉は米沢の市街地からも近く、米沢の奥座敷と呼ばれており、毎年6月から7月にははたる祭りが開催され、大勢の人で賑わう。



アクセス

(北緯37.880709°、東経140.054600°)

国道121号線（館山バイパス）から県道233号線、234号線と約4km南下し、小野川温泉街に入る。「共同浴場滝の湯」を過ぎ左手に「旭屋旅館」があり、旅館の玄関脇に位置する。東屋に大きな「滝の清水」の看板が掲げられている。



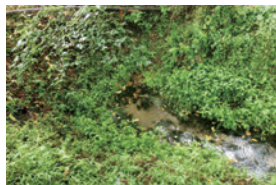


〔管理者〕米沢平野土地改良区 〔保全団体〕堀金大学会

ポイント

米沢市内、東北中央自動車道米沢北ICから西へ、^{おものがわ}鬼面川を越え北に向かい、米沢六郷郵便局を西に進むと左手に木立が茂る一角が見えてくる。この中の水路に清水がこんこんと湧いている。米沢市北部（広幡町、六郷町）には、館清水をはじめ、八幡清水、長清水が湧き、農地を潤してきた。田園の中に、安らぎの水辺空間をつくっている。

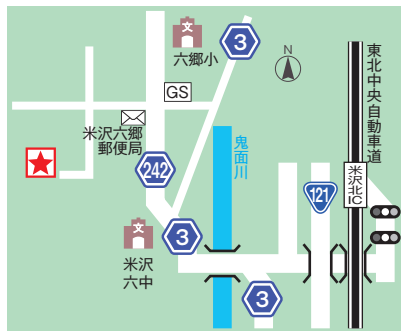
江戸初期の慶長年間、農地の開拓が進み、利水のために争いが起こるようになった。行者だった実相坊が藩主に建言したことで、堰がつくられ争いが収まった（館清水はこの堰の一部）。傍らには水源記念碑がある。また、実相坊の墓前（堀金地区）では、今でも4月に水神祭を行っている。



アクセス

（北緯37.958611°、東経140.086722°）

米沢市北部、東北中央自動車道米沢北ICを西に鬼面川橋を越え、米沢六中前を北に向かう。県道242号線沿いの米沢六郷郵便局から西に約400m進む。左手に木立の茂る緑地帯が見えてくる。駐車場はない。水路に沿って南に進むと記念碑が見えてくる。記念碑から南側に伸びる水路（堰跡）が館清水である。





〔管理者〕 普門院 〔保全団体〕 錦戸薬師堂保存会

ポイント

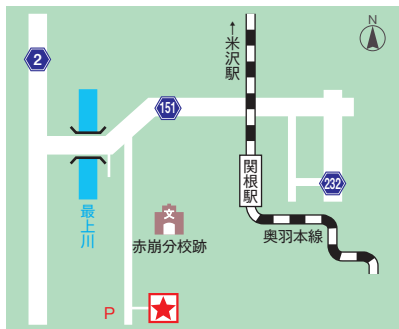
この湧水は、「錦戸薬師堂」（米沢市赤崩地内）の隣にある。山の登り口で、杉林の中に水屋が建てられ、古くから信仰の水として大切にされてきた。本堂に手を合わせてから頂く作法が守られている。疲労回復、病気平癒に効果があるとされ、多くの人が御利益を求めて訪れる。臨終正念の祈念祭事の時にも供えられる。

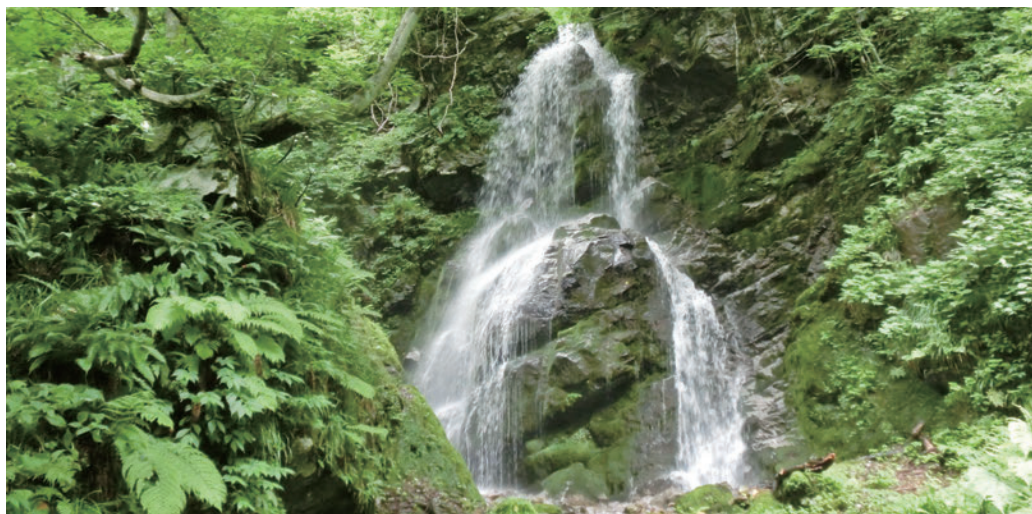
5月と9月の例大祭には、同市関根地区の普門院に祀られている薬師如来像（コロリ薬師）を御神輿に奉安し、村内の安泰を祈願して、当地まで練り歩く。御尊像は、お参りした人が死ぬ時に苦しまなかった話が広がり、「コロリ薬師」と呼ばれるようになった。



アクセス (北緯37.844571°、東経140.126281°)

米沢市内、県道2号線を南進し、県道151号線に左折する。最上川（松川）を渡ったところで、赤崩方面に右折する。道なりに進み、旧関根小学校赤崩分校を過ぎると右手に「錦堂薬師様無料駐車場」の看板。駐車場の反対側の石段を20mほど進むと右手にある。左手に薬師様（錦戸薬師様）が祀られている。

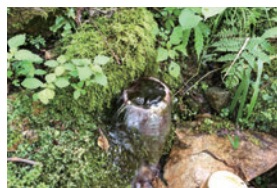




〔管理者〕長井市 〔保全団体〕三階滝保存会

ポイント

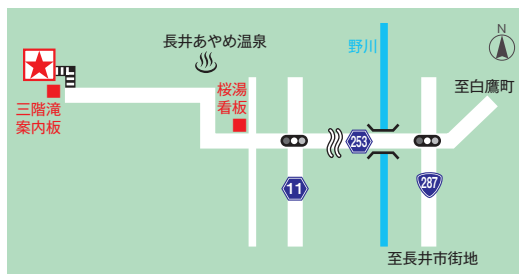
長井市の北西、寺泉地区の「あやめ温泉桜湯」から更に西に入った山中にある。周囲は杉、ナラ、桜等の木々に覆われ、三段に落ちる滝が流れている。滝の下には不動尊を祭った祠があり、更にその下にはしめ縄が張られ、清水が出ている。この湧水は、祠に行くスロープの途中から湧いており5mほど引いて飲み口を作っている。湧水の傍には「登り来て 湧き出づる水の腹にしむ 不動尊祀らる 三階の滝」の句がある。林の中にあり、滝が豪快で四季折々の自然が感じられる。



アクセス (北緯38.124222°、東経139.973806°)

長井市北部の県道253号線を西に向かい、県道11号線を越えて、更に2kmほど西進すると、信号機のない一時停止の交差点があり、右前方に「桜湯」の看板がある。

更に直進し、「長井あやめ温泉」の前を西に道幅の狭い林道を1.5kmほど行くと「三階滝に至る」の標識がある。そこに車を止め、木の階段を200mほど下りていくと掲示板があり、奥に祠、裏に滝がある。祠の下に清水が湧いている。

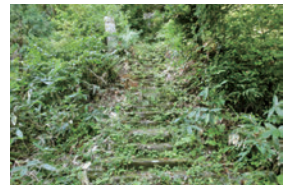




〔管理者・保全団体〕小滝区

ポイント

この湧水は、「白鷹山虚空蔵尊表参道」の中ほど、表参道石段手前の広場に勢いよく湧き出ている。湧水地点は100mほど登ったところであり、そこから導水している。通年枯れることがない。水は夏でも冷たく、登山や参拝客の休憩に格好の水となっている。白鷹山（やまがた百名山）には、古来、虚空蔵菩薩が顕現し、白い鷹が棲む霊山として信仰を集めている。山頂付近はブナに覆われ、春の新緑、秋の紅葉を楽しめる。



アクセス (北緯38.219987°、東経140.175217°)

上山市狸森地区、国道348号線を長井・白鷹方面に進み、境小滝トンネルを抜け、白鷹トンネル手前、右手の旧道に入る。旧道を400mほど進むと、小滝越えと白鷹山頂方面の分岐点がある。白鷹山頂方面の道には「白鷹山虚空蔵尊表参道」の看板。そこから2.1kmほど北進する。道が狭いのですれ違いに注意。(途中、「白鷹山・若返りの水」あり)。車道終点の広場の奥に湧水がある。





〔管理者・保全団体〕小滝区

ポイント

この湧水は、「白鷹山虚空蔵尊表参道」の中ほど、表参道沿いの斜面から湧き出ている。水は夏でも冷たく、多くの人々が水を汲みに訪れる。通年枯れることがない。「若返りの水」の由来は、この湧水を飲んで若返ったという伝承にちなんだもの。

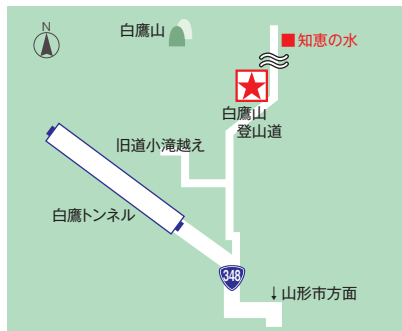
白鷹山（やまがた百名山）には、古来、虚空蔵菩薩が顕現し、白鷹が棲む霊山として信仰を集めている。山頂付近はブナに覆われ、春には新緑、秋には紅葉を楽しむことができる。



アクセス

 (北緯38.211447°、東経140.176988°)

上山市狸森地区、国道348号線を長井・白鷹方面に進み、境小滝トンネルを抜け、白鷹トンネル手前、右手の旧道に入る。旧道を400mほど進むと、小滝越えと白鷹山頂方面の分岐点がある。白鷹山頂方面の道には「白鷹山虚空蔵尊表参道」の看板。そこから1.2kmほど北進する。道が狭いのですれ違いに注意。湧水は左側に見えてくる。駐車は右側の空きスペースを使う。





〔管理者〕高梨利右衛門奉賛会 〔保全団体〕二井宿わくわくプロジェクト

ポイント

この湧水は、二井宿峠古道の途中、杉林に囲まれた「一の坂・刑場跡」の片隅に、こんこんと湧き出ている。湧水地点は、石積みの1尺四方の洞穴の中にあり、水面の揺らめきから湧き出る様子がかがえる。隣接の刑場跡は、その昔、厳しい年貢の取立てに直訴して磔となった高梨利右衛門の刑場跡である。地域のために亡くなった故人を偲び、夏には例大祭を行っている。

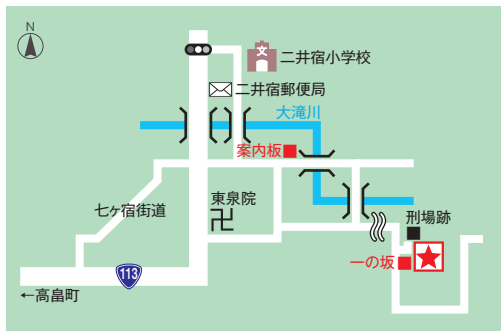
この峠道は、伊達領の時代から軍事道路として利用されたもので、奥州街道につながることから、江戸期には人や物の重要な通り道であった。峠道を通る人々の大切な飲み水として利用されていた。



アクセス

(北緯38.016469°、東経140.271302°)

高島町内、国道113号線を東に七ヶ宿方面に進む。峠道のトンネルの手前、交差点を大滝地区内に右折する。大滝川沿いに進み未舗装の林道を1kmほど進むと「一の坂・刑場跡」の標識がある。その先にある「古道一の坂へ」の案内から60mほど徒歩で登ると高梨利右衛門刑場跡があり、そのすぐ隣に岩清水がある。





ちえみずりこんすい 知恵の水 (利根水)

高島町大字亀岡

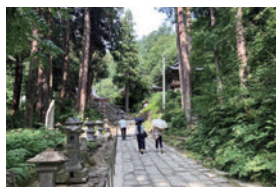


〔管理者〕 亀岡文珠 (松高山大聖寺) 〔保全団体〕 亀岡文珠

ポイント

知恵の水は、日本三文珠の一つ「亀岡文珠」の本堂右側の奥に湧き出している。文珠堂には、学問の神様といわれる文珠菩薩（知恵を司る菩薩）が祀られており、多くの受験生が合格祈願に訪れる。この湧水は、古くから「飲めば文珠様の知恵を授かることができる」と伝えられている。

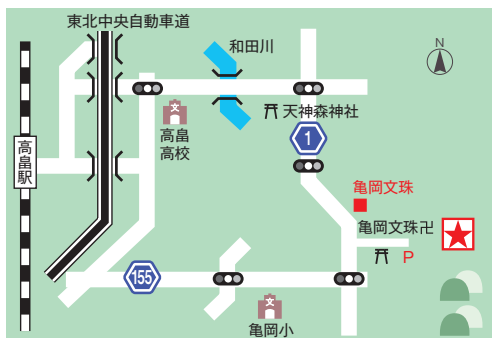
平安時代（807年）に東大寺の徳一上人が、勅命により、伊勢国神路山にあった文殊菩薩（中国五台山から伝来）をここに移動して祀ったのが亀岡文珠の始まりとされる。歴史的な名刹である。1602年に、直江兼続が前田慶次らを招き、ここで詩歌会を開いている。



アクセス (北緯37.9803447°、東経140.191717°)

高島町、市街地から南の方にある亀岡文珠を目指す。

町役場から南に向かい、県道1号線（ラ・フランス通り）を通過して、看板に従って進めば、亀岡文珠に着く。参道を登った先に亀岡文珠堂があり、本堂の右側奥に湧いている。





ブナしずく

小国町大字小玉川（森林セラピー基地温身平地内）



〔管理者〕 置賜森林管理署 〔保全団体〕 森林セラピーアテンドメントミーティング

ポイント

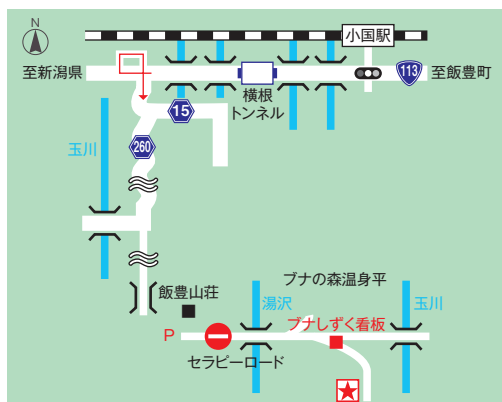
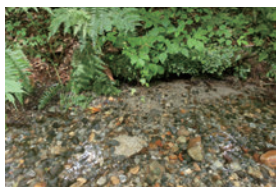
日本百名山の「飯豊連峰」への登山基地の一つ、飯豊山荘から気軽に散策できる「森林セラピー基地 ブナの森温身平」の中にある。セラピーロードは標高400～500m、全コース延長5.5km。深いブナの原生林に囲まれたこの林道を2kmほど歩く必要があるの、登山家や、自然愛好家しか知らない湧水である。まさにブナの精、ブナのしずくであり、全身で自然を感じることができる場所である。



アクセス

(北緯37.916500°、東経139.678806°)

小国町から国道113号線を新潟方面へ進み、赤芝峠を過ぎて県道15号に入る。3kmほど進み、県道260号線との交差点を直進し県道260号線に入り、南に17kmほど直進すると飯豊山荘に到着する。飯豊山荘の先に駐車場があり、ここから先は徒歩となる。車止めを超え、橋を渡ると徒歩約2kmで右手に「ブナしずく」の看板があり、そこを下りてすぐのところにある。





しょうじょうすい 清浄水

～令和3年度選定～ Googleマップ

飯豊町大字小白川



〔管理者〕宝蔵院 〔保全団体〕天狗山奉賛会、小白川区民会

ポイント

やまがた百名山の一つである天狗山の登山道の途中にある。「清浄水」とは、煩惱の汚れを流す水と言われ、古くは禊ぎにも用いられた。県道から小白川集落に入る入り口には、赤い大きな鳥居があり、天狗山まで続く霊山となる。この地域は、現在も多くの人が篤い信仰を寄せている。

天狗山は、800年前の鎌倉時代に源頼朝の叔父である護念上人が、荒尾沢の滝のそばに三日月不動尊を祀ったのが起源とされている。また、近世明治以降は慶明海上人が、八千日山籠の修業を行ったとされ、その修験の際に使用したのが「清浄水」である。護摩堂の本尊である不動明王のほかに天狗様が祀られている。



天狗山一の鳥居



天狗山護摩堂

アクセス (北緯38.031428°、東経139.929171°)

飯豊町役場から県道10号線を手ノ子方面に進むと、小白川十字に天狗山一の鳥居がある。鳥居からは所々にある標識に従い、天狗山方面へ西に進む。集落を過ぎて、林道を終点まで進む。そこから登山道を徒歩で進み、護摩堂に向かうと境内の下に水場がある。

※令和4年8月に発生した豪雨の影響により、登山道が通行できなくなっています。(令和7年10月現在)

